

1928

秋

人生は一度きり

ふまに 出のアルドム 9 出たしと

いつのニと 出か ぶまに 出して ころん

めん 存則と こん 存こと あり だぶしよーーー

いつに 存て も ありん 存ん

この 歌は 春 夏 秋 冬 とつづいてい

書 不もい 出は 目と 七しと 自然と 出で

く

春 遠足が あり

イト ころの 美和 さん 七つ ぎを して まうい

サウ ころの 花の 美しい 農園へ 行つた

小学校 一年 だつた

夏 の あり 日 白い 木 七つ 甲子 だ

あり いて いた あり 七つ 存ん 七 思つて いた

か 七

極は 庭に くりの 木 あり

父木 くりの いかく 七 注意して 枝を ゆす

ろと くりの 木 七 七 と ありて あり

冬は ころ だつて あり 七 七 七 七

か あり

何と私の思い出は 子供の時はわり
 大人になつてから 季節との思い出はわり
 たいしりニとは 子供の時はわり
 今思うと かくむここを 果てと思ふことが
 多い それが私を育ててくれた
 今も 世間知るす とも何とわ 白を ~~送~~ 送って
 いよ
 そう一度 人々のスタートライン ^と といふ
 いうし たいし ずずし たいし がある
 残念な木う 一生は一度たり だ

2023
4/23